

| | | | | | | | | | |
|------------------|--|------|----|---------|----|-------|--|-----|--|
| 講義コード | 11C0100523 | 授業形態 | 演習 | 事前登録の有無 | なし | 担当教員 | | 開講期 | |
| 科目名 | 学修の基礎 I (外木A) | | | | | 外木 好美 | | 第1期 | |
| 履修前提条件 | | | | | | 備考 | | | |
| 授業の目的 | この講義では、本学が唱導する「モラリスト×エキスパート」の理念を共有するため、本学の教育理念や大学における勉強法、大学で最低限必要とされる知のツール－文献の批判的な読み方、問題意識の絞り方、資料の調べ方と整理の仕方、発表や議論の仕方、レポート作成の基本的なノウハウを学修することを目的とする。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | この講義では、演習形式を採用することにより、①高校までとは異なる大学における「知の技法」があること、②自分の問題意識にもとづいて情報を収集する方法、③その情報を整理してまとめる手法、④取りまとめた内容について発表＝プレゼンテーションをする手法、⑤プレゼンテーションの内容に基づいて討論を行う手法、⑥調べたことをレポートにまとめるための基礎的知識が得られる。 | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・授業外学修時間数 | ①講義で出された課題を行うこと ②授業前1週間の新聞に目を通すこと ③幅広く読書を行うこと ④図書館を活用すること (毎日40分程度行うこと。計70時間) | | | | | | | | |
| 授業計画 | <p>【第1回】 イントロダクション－「大学」ってどんなところ？ 大学と高校での学びの異同－</p> <p>【第2回】 立正大学の歴史と基本理念①</p> <p>【第3回】 立正大学の歴史と基本理念②</p> <p>【第4回】 経済学部では何を学ぶか</p> <p>【第5回】 学びの基礎－問題意識を持つ－</p> <p>【第6回】 文章の読み方－読む→要約する→疑問を持つ－</p> <p>【第7回】 文章の読み方－読む→要約する→疑問を持つ－</p> <p>【第8回】 課題について調べる－図書館の使い方－</p> <p>【第9回】 課題について調べる－インターネットの活用法－</p> <p>【第10回】 調べたことをまとめる－資料作りの技術－</p> <p>【第11回】 プレゼンテーションの技術－発表と討論－</p> <p>【第12回】 プレゼンテーションの技術－発表と討論－</p> <p>【第13回】 レポート作成の技術</p> <p>【第14回】 レポート作成の技術</p> <p>【第15回】 総括</p> <p>上記に加えて、各回の授業の冒頭10分程度を「ニュース検定」に関する学習に充てる。</p> | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | 討論など平常の授業への参加態度60%、報告（レポートやプレゼンテーション）40% | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | レポートやプレゼンテーションについて、授業内でフィードバックする。 | | | | | | | | |
| 教科書 | 『START 学修の基礎2017』（立正大学）2017年、『2017年度版 ニュース検定公式テキスト&問題集『時事力』基礎編（3・4級対応）』日本ニュース時事能力検定協会（毎日新聞出版）2017年 | | | | | | | | |
| 指定図書 | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | 指定図書・参考書については担当教員より指示がある。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付ける。 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |